

平成 26 年度

鹿嶋市教育行政運営方針について

平成 26 年 4 月

鹿嶋市教育委員会

「一人ひとりが輝き 未来にはばたく 鹿嶋っ子 育成プラン！」

本方針は、「鹿嶋市教育振興基本計画（平成 26 年度～平成 35 年度）」で掲げている基本コンセプト（概念）です。

平成 26 年度は、当該計画の初年度であり鹿嶋市における教育のさらなる一步を踏み出すための達成ステップを明確にする作業を行う年でもあります。

本計画のロードマップ(進捗計画書)は、子どもたちが「自ら考え、行動できる生きる力」を育むことができるよう教育現場である学校と地域の思いが一体となって綿密に策定されなければなりません。

従来の教育改革の提言の多くは、理論的大義はあっても、現実的には教育環境を変えるまでには不具合が生じ、違和感が残りました。グローバル化等に対応した教育改革の計画を策定しても、学校がその施策の具現化が難しく、教員がそのための研修で多忙になり良好な教育環境を整えることには限界がありました。

教育制度を全く新しいものに取り換えることは不可能です。不可能である以上、「教育改革」というのは、「ありものの組織」と「ありものの教員」たちの潜在的パフォーマンスをどのように最大化するかという課題に集約されます。

学校運営をより充実させるには、家庭・学校・地域それぞれが当事者意識を持ち、連携して目標を共有し、成果を互いに評価し合う新たな工程を作り上げることが重要です。この連携を強め、「子どもの心と体を健全に成熟させること」を中心に据えた教育こそ、一人ひとりが輝き未来にはばたく鹿嶋っ子の育成につながると考えます。

平成 26 年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針

(1)学区の再編成

学区の線引き見直しについては、基本的には義務教育を適正に実施するため、学校規模の適正な配置や、児童生徒の通学の便等を考慮して定める必要があります。外部の有識者等を含めた組織を立ち上げ、調査・研究を進め学区の再編成に取り組みます。

(2)学校支援関連事業

就学前相談や発達・不登校・いじめ・虐待・問題行動等多岐にわたる教育相談に柔軟に対応し、問題を抱える幼児童生徒や保護者を支援する機能を備えた(仮)教育相談所(教育センター)設立に向けた計画策定を行います。

当該相談所は将来的には、各種教育専門家や教職員の資質の向上を図る鹿嶋師範塾や適応指導教室の充実による個別教育支援体制の拡充も視野に入れて計画を作り上げます。

また、学力向上に向け、思考力・判断力・表現力を高める授業改善を図り、教育先進都市にふさわしい授業スタイルの研究と成果を学校に求めます。

(3)教育振興基本計画に基づく実施計画策定

全ての教育施策は目的達成のための手段となります。そのため目標、目的は手段を模索する際の出発点となります。

鹿嶋市教育振興基本計画を着実に実行に移すため、具体的な目標に対する評価指標と数値目標を設定した実施計画を策定します。

(4)幼児教育関連

平成 27 年度には鹿嶋市では初めての公立の認定こども園が開園します。鹿嶋市では乳幼児期からの発達や学びの連続性を踏まえ、保護者の就労状況に影響を及ぼすことなく、同じ施設で継続的に一貫した教育や保育を受ける環境づくりを目指します。

そのために、幼稚園の「幼児教育」、保育園の「乳幼児保育」という概念にとられず、小学校就学前の全ての幼児を対象とした質の高い幼児教育と子育てを総合的に支援する環境を提供します。

また、同時に既存の幼稚園、保育園、あるいは公立・私立を問わず適正配置に考慮し、鹿嶋市の幼児教育施設の在り方を明確にする計画作りを行います。

(5)学校施設関連

耐震化や築 20 年以上の学校施設を計画的に改修し最適な学校教育環境整備を計画的に行っています。

本年度は、大野中学校武道場の耐震化、鹿島小学校の大規模改造計画による改修工事の実施計画策定、学校プールの配置計画策定を予定しています。

学校プールが抱える課題を解消するため、1 学校 1 プール配置から、プールを市民の健康促進を含めた市施設として位置づけ、計画的に進めるための計画を策定します。

(6) 大野中学校単独調理場の集約と一部給食二献立制計画策定と給食費等の徴収および滞納対策

大野中学校の単独調理場と調理機器が老朽化し、修繕備品類の更新時期にきています。また、学校給食センターにおいて一部二献立制を実施するにあたっては、厨房機器の増設や移設が必要になります。この2点に関する計画策定は喫緊の課題になっています。

給食費等の徴収および滞納問題に対する対策は、長年にわたり監査で問題として取り上げられてきました。教育委員会としては、徴収に努めてきましたが、抜本的な対策が求められているため、具体的な徴収方法について問題点を整理して滞納対策を実施します。

(7) ICT教育の充実

各教科において、教員・児童生徒によるICT活用の充実が図られるとともに、児童生徒のICT活用を通じて情報活用能力の育成の機会も増大すると期待されています。

加えて、校務にICTを活用することによる効率化や学校経営の改善といった変化が求められるようになっており、今後も授業の効率化を進め、様々な電子機器の活用を推進します。

(8) 英語教育関連

鹿嶋市では、全小学校が英語教育特区の特例校の指定を受け、中学校と連携した継続的英語活動を意図したカリキュラム作りを始めています。さらに、小学校英語の実態調査を導入し、その成果を確かめてきました。

しかし、全国規模で英語教育活動を活発化させるにあたって、鹿嶋市が今後10年間をどのような目標で英語における先進都市を目指すのかという点を明確にするため、鹿嶋市の英語教育推進計画を本年中に策定します。

(9) 学校管理と「放課後子ども教室」並びに「放課後児童クラブ」の関係を密接に

学校施設を活用した児童クラブ（対象：小学1年生～3年生。4年生以上も空き状況により受入；厚生労働省管轄；こども福祉課所管）及び放課後子ども教室（対象：小学1年生～6年生文部科学省管轄；生涯学習課所管）の開設により、学校内における管理の課題が浮上してきています。

理想的には、学校内に児童館も兼ねた施設として学校管理下での運営が望まし

いと考えていますが、学校による直接的な管理には、教職員の勤務内容等の整理も必要となります。

鹿嶋市独自の放課後子どもプラン事業の運営の在り方については、所管部署や学校と協議をしながら新たな方法を検討していきます。

(10) 図書館基本計画の策定(学校を含む)

中央図書館が開館して今年の10月で30年目を迎えます。現在、小学校の図書館整備完了に伴い中学校図書館整備が始まり図書館を有効に活用した教育活動が行われています。この活動をさらに活発化させるとともに公共図書館の在り方を明確にします。

「人的ネットワーク」「物理的ネットワーク」「情報ネットワーク」という3本柱をもとに、公共図書館と学校図書館との連携を明確にした図書館基本計画を策定します。

<参考資料>

鹿嶋市教育委員会機構図

1 鹿嶋市教育委員会委員名簿

委員長	小澤	和夫
委員長職務代理者	伏見	文
委員	矢幡	久美子
委員	信樂	愼
委員	岡見	文彦
教育長	川村	等

2 鹿嶋市教育委員会行政組織

【教育委員会事務局】

教育総務課 鹿嶋っ子育成課

【教育機関】

【図書館（2館）】

中央図書館 大野分館

【学校給食センター】

【小学校（12校）】

波野小学校 豊郷小学校
豊津小学校 鹿島小学校
高松小学校 平井小学校
三笠小学校 鉢形小学校
大同東小学校 大同西小学校
中野東小学校 中野西小学校

【中学校（5校）】

鹿島中学校 高松中学校
鹿野中学校 平井中学校
大野中学校

【幼稚園（6園）】

三笠（第一）幼稚園
高松（第二）幼稚園
波野（第三）幼稚園
豊郷（第四）幼稚園（休園中）
平井（第五）幼稚園
はまなす幼稚園 ※（）は旧園名

【補助執行（市長部局）】

【生涯学習課】

青少年センター
平井コミュニティセンター

【スポーツ推進課】

【公民館】

中央公民館 鹿島公民館 高松公民館
平井公民館 豊津公民館 豊郷公民館
波野公民館 鉢形公民館 三笠公民館
大野公民館 はまなす公民館

3 鹿嶋市の教育行政の経緯

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育やスポーツ振興などの生涯学習部門を補助執行するため、市長部局に市民協働部を新設 ・鹿島小学校で独自のカリキュラムによる英語活動が始まる
平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度を初年度とした10年間を計画期間とした鹿嶋市教育基本計画を策定 ・三笠小学校で独自のカリキュラムによる英語活動が始まる ・まちづくり市民センター及び地区まちづくりセンターを設置 ・友好都市である中国塩城市、姉妹都市である韓国西歸浦市と中学生の派遣交流を開始
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> ・読書する機会をつくるとともに関心を高めるために、鹿嶋市読書感想文・感想画コンクールを実施
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育法一部改正 ・全市的な英語活動を推進するため、レシピ方式による英語活動のモデル校として波野・豊津・中野東小学校を指定し、同方式を導入 ・中学生海外派遣交流事業では、中国及び韓国に、オーストラリア（カラウンドラ市）を加えた3カ国との交流を実施 ・第18回 全国生涯学習フェスティバル「まなびピアいばらき2006 in 鹿嶋」を開催 ・生涯学習塾「かしま灘楽習塾」が開講
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> ・教育行政の充実を図るために、教育委員会事務局部長に民間人を採用 ・教職員の資質向上と市民の教育に関する関心を高めるために、鹿嶋師範塾を設立し、各種講座を開設 ・小学校での英語教育の充実を図るため、鹿嶋英語教育特区の認定を受ける。併せて、レシピ方式による英語活動を鹿島・三笠小学校以外の小学校に導入 ・中学校英語教諭の海外派遣研修を実施 ・学校図書館の充実を図るために、専任の学校図書館司書を波野小学校に配置 ・幼稚園6園、大野中学校を除く小中学校16校に給食を供給する新学校給食センターが稼働 ・学校教育課を鹿嶋っ子育成課へ名称変更

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> • 三笠小学校の余裕教室を活用した三笠まちづくりセンター（公民館）開館 • 放課後子どもプランスタート
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> • 社会教育法，図書館法一部改正 • 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正 • 個別指導の充実を図るために，小学校第1学年での少人数学級編制の実施 • 専任の学校図書館司書を三笠小学校及び大同西小学校を加えた3校に配置 • 小学校での英語教育の充実を図るため，レシピア方式による英語活動を全小学校に導入 • 中国四川省大地震により，学校施設耐震化計画を見直し，完了年度を当初予定から3年早め，平成23年度に変更 • 豊津小学校耐震化工事完了 • 第23回 国民文化祭・いばらき2008「かしま・潮騒交流文化フェスティバル」を開催 • 公民館年間延べ利用者30万人を超える
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> • 少人数学級編制を小学校第2学年まで拡大 • 専任の学校図書館司書を高松小学校を加えた4校に配置 • 教育基本計画を見直し，平成21年度からの5年間を計画期間とした鹿嶋市教育基本計画（後期）を策定 • 小学校での英語活動の充実を受け，中学校での英語科教育の研究を行うため，鹿野中学校をモデル校として指定し，中学校でのコミュニケーション英語のカリキュラムの検討を実施 • 市独自に小学校専科担当非常勤講師を2名配置
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> • 前年度の鹿野中学校での研究を踏まえ，中学校全校でコミュニケーション英語を取り入れた授業の展開 • 鹿島・高松・平井・中野東小学校，鹿島・鹿野中学校の6校耐震化工事完了 • 平成23年3月11日東日本大震災

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> • 三笠小学校, 大同東小学校, 大同西小学校, 中野西小学校, 高松中学校の5校耐震化工事完了 • 東日本大震災により第二幼稚園園舎が被災したため, 第五幼稚園で合同保育, 高松小学校敷地内に第二幼稚園舎を新築復旧 • 大野ふれあいセンター開館 • 小一プロブレム対策のスタートカリキュラム完成・スタート
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> • 小一プロブレム対策のスタートカリキュラム改訂版作成 • 学校内研修体制の確立と指導主事による研修支援 • 小中英語連携によるコミュニケーション英語カリキュラム作成による各校完全実施 • 小学校「国算理鹿嶋市独自学力テスト」作成・実施 • 大野中学校校庭拡張工事実施 • 小学校の学力は, 平成23年度から県・国とも全国平均を越えているが学校間格差は出始めている • 鹿嶋市子ども議会開催 • まちづくり市民センターと大野ふれあいセンターに太陽光発電設備設置
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> • 鹿嶋市教育振興基本計画策定 • 地域における幼・小・中連携行事の推進 • 青森県五所川原市との小学5年生交流 • 中学生9泊11日のカナダ英語研修とホームステイ • 京都女子大教授指導の下で授業改善プロジェクトが鹿島小・大野中で開始 • 小学校にタブレットの導入(6校) • いじめ問題等対策委員会規則制定 • 英語習熟度テストの導入 • 児童生徒交友関係テスト • 幼・小・中学校に扇風機設置 • 小・中学校のトイレ洋式化 • 中学校図書館整備開始(高松中)